

知事との県民対話集会（茅野市）概要

- ・開催日時 令和5年6月1日（木） 午前10時20分から正午まで
- ・会場 茅野市役所 8階大ホール
- ・参加者 県民33名、今井茅野市長、阿部知事、宮原諏訪地域振興局長
- ・テーマ 「若者と女性に選ばれるまち」を目指して

・主な発言（要旨）

【参加者】

・製造業を経営する中で人材確保が難しいと感じる。採用応募者は20代、30代の方が増えてきた。応募者の中には、会社のホームページでSDGsに取り組んでいることを知り、それに興味を持って応募したという方もいるなど、この数年で傾向が変わってきたと思う。また、採用した若い人の中には特徴のある方、個性ある方も増えてきており、いかに本人の持っている特性を会社が理解するか、その人に沿ったキャリアを会社の中でどう積み上げるかを重要視する必要があると感じている。

【知事】

・産業関係の方と話をする中で、どの分野でも人材不足であることは認識している。人材確保は行政も考えるべきテーマ。若い人たちがどういう働き方を求めているのか、あるいは地域社会や家庭生活と（仕事を）両立させるためには、働く場がどういうサポートができるのかということを経営の皆さんと一緒に考えたい。

・多様性が尊重され認められる社会でなければ、その地域はどんどん衰退してしまうと思う。女性も男性もLGBTQの人たちも外国人も障がいがある人もない人も、全ての人に人権があって、みんなが気持ちよく暮らせるような社会でありたいと願っている。多様性がある人たちを受け入れやすい環境を、まず企業の皆さんにつくってほしい。行政はその取組をサポートする必要があると思っている。

【参加者】

・女性活躍と言われる中、厚生労働省が行った働く女性の不育症、不妊症、流産、死産に関する調査では、課題を抱えながら働く女性がいることが明らかとなった。

・相談窓口が圧倒的に不足していると思う。全国の市区町村レベルでは、70%が相談窓口を持っていないのが現状。多くの女性に起こりうる流産、死産に対し、セーフティネットは日常の近くにあるべき。安心して妊活に取り組める環境が働けることにもつながり、少子化対策にもつながると考えている。

・流産、死産を経験され、話を聞いてほしかったと希望した方のうち20%が経験者に話を聞いてほしいという声がある。県内でどれほどの人がこういう取組をしているか分からないが、私は茅野市を中心に発信していきたいと考えている。

【知事】

・相談に関しては重要な話であると思う。誰が相談にのればいいのか、どこに相談窓口をつくるのかという話は、いろいろな見方や考え方がある。まずは当事者間の問題意識の共有が重要であると思う。この話に限らず、行政が最初から仕組みをつくるのではなく、当事者の皆さんでつくったネットワークを行政が側面からサポートする形がよいと考えている。相談の場やネットワークづくりについて、一緒に力を合わせながら取り組めればありがたい。

【参加者】

・移住して農業を営んでいる。農業の問題は、農家の方々が「農業は大変だ」と言うことで入口が非常に狭くなっていることと高齢化が顕著であること。農家の先輩方が農協や県、市町村と話をする、まず補助金の話になる。補助金はありがたいが、ビジネスの観点からすると補助金をもらうことは、それをさらに投資し、それ以上のお金を使ったり、仕組みを変えるために使ったりといった思考になるのが当たり前。その当たり前がないのが農業の弱み。そして、その弱みは、人材不足が原因と考えている。人材不足は他の業界でも増えている。一方で、コロナ禍となって自分の人生を考え直したいと思っている人は都会にたくさんいる。移住も増えている。能力、体力等を備えた彼らにいかに入ってきてもらうかがポイントだと思う。

【知事】

・農業に限らないが、自分で自分の産業を貶めてしまうのは次の担い手がなくなり本末転倒。それぞれの分野の人が自分の仕事の意義、楽しみ、誇りを若い人に伝えていかないと人口減少社会の中で悪循環に陥ってしまうと思う。
・補助金について、本当に必要なものもあると思うが、整理は必要と考えている。その議論を県民の皆さんとやっていきたいと思っている。
・移住と仕事とセットで長野県に人を呼び込みたい。行政も推進するが、それぞれの仕事の立場で皆さんに発信してもらいたい。銀座NAGANOと一緒に移住者セミナーに参加していただき、農業のよいところを話してもらいたい。

【参加者】

・県で実施している新規就農里親制度は、里親の受入れが少なく需要に対応できていないのが現状。人を育てたいという思いがあれば、若く新規就農した人でも里親になれるよう提案している。このことに限らず、細かく問題点を見つけてそれに対処していくことを県や市町村も自分たちの仕事と考え、取り組んでもらえれば徐々に変わってくる。県は配り物などを農家に直接届けてくれるが、その時間を使って考えてもらう方がよいと思う。

【知事】

・新規就農里親制度の里親要件については、宿題にさせていただき速やかに検討する。
・配り物の話は、経営の観点からは無駄なことと思われると思う。県では「かえるプロジェクト」に取り組んでおり、仕事の仕方は変えなければいけないと思っている。県の仕事は法律などで決められたものもあり自由がきかないところもあるが、県民の皆さんから見てやめた方がよいと思うことはやめられるようにしていきたいと思う。

【参加者】

・IT系企業の経営をしながら、市街地周辺で古着販売、カフェを営んでいる。企業の人材確保に対する課題と若者の求職者が具体的に相談できる場がないという課題の両面を解決するため、就活ラウンジをつくった。AIで企業と求職者をマッチさせた上で、さらに少人数の求職者と採用担当者が話し合うことで就職ミスマッチを減らそうという取組。茅野市からも補助金で支援いただき、民間と行政と一緒に仕組みをつくった一つの事例と考えている。
・移住者が一番に困るのは仕事と住まい。茅野市と連携して考えていきたい。

【知事】

・県は対話と共創を提唱している。人材確保の新しいやり方として、就活ラウンジには発展してもらいたいと思う。県でこの仕組みを行うとすれば、茅野市だけでなく他のところに広げるかどうかという判断が必要になると思う。
・住まいの問題は、空き家活用推進アドバイザーを活用して県も対応していきたい。

【参加者】

・茅野市北部中学校生徒会は実習的な活動への参加と協力して活動することを通して、お互いに教養を高め、社会人となる基礎をつくることを目指している。新型コロナウイルスの影響で今まであったつながりがなくなった。学校と地域の新たなつながりをつくることに挑戦していきたい。
・公民館の皆さんには学校と地域を結んでいただき、各地区にある課題や困っている方の情報を教えてもらったり、私たちが望むことを教えてもらったりしている。公民館活動を中心に地域の皆さんとともに力を合わせて何かを成し遂げることで、自分の生き方や自分たちが生きているまちの未来を考えられればよいと思っている。

【知事】

・地域の困ってること、地域が望んでいることに対する取組は極めて重要。公民館との生徒会交流は素晴らしい話。ぜひ、これからも続けて広げてもらいたい。

【参加者】

・茅野市の公民館では分館、地区館、本館のつながりが大きな特徴で、顔が見える地域のつながりを重視した公民館活動が進められきた。しかしながら、昨今は区に入らない方が増えてきて、地域で自治会に入っている人、入っていない人が混在するようになり、つながりをつくるためにも今後どうしていこうかというのが課題である。公民館としては、今後も膝を突き合わせ、地域の皆さんと話をする機会を創出していききたいと思っている。

・公民館活動についても、できあがったものを地域に示すのではなく、中学生や地域の人も含めて企画段階から考えていただき、一緒に話を練ってもらうことが大事だと思っている。公民館は、地域のコーディネーター的な役割を果たしていくべきであると考えており、それに向かって取組を進めていきたい。

【知事】

・自分たちで自分たちの地域の課題を掘り起こして、どうしようかというのが、まさに自治の原点だと思う。企画の段階から入ってもらい、当事者意識と問題意識を共有するところから始めることは極めて重要。みんなと一緒に考え始めるところからスタートさせるのが、自治の基本だと思っている。公民館活動が活発な風土をさらに活かしていただきたい。

【参加者】

・東京は自然が少なく、空気がいいところで子育てしたいということで長野県に移住した。子育ての観点から子どもに関する予算が少ないという印象を受けた。医療無償化、給食費無償化を頑張ってもらっていただければと思う。

・新型コロナウイルス感染症が発生してから3年が経ち、常にマスクをする生活は過剰な対応であると思う。心身ともに健全な子供を育てるためにマスクを外すべき。

【知事】

・子どもに関する予算は国も増やす必要があるとして、今いろいろと議論をしている。都道府県からも国に提言しているが、それだけではなく、県としても独自に考える必要があると思っている。子どもの医療費の話は財源をどうするかも含めて議論をしてきたい。

・問題意識を持っているのは、保育の部分。保育士の皆さんの処遇や人材確保、あるいは保育の年齢による無償化の話。加えて、保育所に預けない家庭で養育されてる方と保育所に預ける方のバランスをどうとるか。そうしたことは県で考えて必要なところはしっかり支援していきたい。

・マスクの話は、自己判断でお願いしている。誰かが強制する、しないということではなく、自分たちで考えることであると思う。